



社会医療法人 栄光会

栄光病院

EIKOH HOSPITAL

広報誌（医療版）

Vol. 18
2018 Apr

手と目と



「菜の花」

栄光会OB・青木さんの
切り絵

■Contents■

- 巻頭言
- 特集～患者サポートセンターについて～
- 部署紹介
- 医療・看護の質向上の取り組み
～認知症ケア向上委員会の取り組みについて～
- 健康のためのちょっとイイお話し
- My Favorite ～私のお気に入り～
- Information
- 診療スケジュール
- 編集後記

この御方（イエス・キリスト）からの
温かい赦しと愛の眼差しを仰ぎ、
この御方を起点として
心穏やかに
業務に励んでまいりましょう。

（「栄光会フィロソフィ」より）

「今月のことば」

「手と目と」

この言葉には、
「手」と「目」で「見る」
（手＋目＝看）という
私たちの思いが込められています



社会医療法人 栄光会 栄光病院
看護部長 的野 修一



年の初めに一年間のテーマ、スローガンを決める。このことは昨年の朝礼でお話したことがあります。例えば昨年のテーマは「人の歩みを止めるのは『絶望』ではなく『諦め』人の歩みを進めるのは『希望』ではなく『意志』」でした。まあ、これが一年間実践できたかどうかはこの際置いて…。さて、今年の初めに平成三十年のテーマを何にしようかと色々考えていた時、ある研修会で出会ったのがこの『計画された偶発性理論』でした。これはスタンフォード大学教育学・心理学教授の克蘭ボルツ氏が提唱した理論です。ぱっと聞いただけでは何のこっちゃで感じですね。何しろ「計画」と「偶発」は意味からすると真逆にある言葉ですから。この『計画された偶発性理論』それは簡単に言えば、「ある五つのカギを持って行動していく中で、自分を良い方向に導く偶然の出会いや出来事に巡り合うことがある。」ということです。では、克蘭ボルツが言う「カギ」とは…。

一、自分の知っている範囲を超え、様々なことに関心を持ち、常に新しい機会を求めている「好奇心」。

二、何かを始めたなら、何らかの手応えや結果が得られるまで続ける、そしてたとえそれが失敗に終わってもめげない、屈しない「持続性」。

三、全ての出来事は自分にとってチャンスまたプラスであり、思いは必ず実現出来ると捉える「楽観性」。

四、「こだわり」を捨て、「固定観念」に縛られず、「何でも来い！」という気持ちを持つ「柔軟性」。

五、リスクを取ってでも行動を起こす「冒険心」。

この五つです。

平成三十年は「診療報酬・介護報酬同時改定」の年であり、その概要が先日示されました。今年は栄光会全体が、そして私たち看護部も今までにない大きな変革と決断を迫られることになりました。私は看護部を預かる責任者として、この「五つのカギ」を常に意識しながら、今年一年スタッフと共に歩んで行きたいと願っています。

特集

患者サポートセンター新任ごあいさつ



社会医療法人 栄光会 栄光病院 院長
患者サポートセンターセンター長 井上 裕

患者さんの入院退院というのは実はとても大変なことです。入院は多くの方が初めて経験するので多くの方はきつと何を準備していいのかわかりません。病気があるので気持ち・心構えからして不安でしょう。一方退院が近づくとこれはこれで大変なことに気がつくのです。自宅で生活することが可能だろうか？経済的に大丈夫だろうか？一人でやっていけるだろうか？

栄光病院ではこの大切な入院退院という出来事が、患者さんお一人一人にスムーズに進むように「患者サポートセンター」を新設することにしました。

入院業務ができるだけ簡便に進むように、また入院時からその患者さんの退院状況を想定しつつ配慮いたします。患者さんが入院中はできるだけ病気の診断・治療に専心していただけるように最大限の配慮をいたします。

新しい「患者サポートセンター」はこれまで栄光病院で入院業務に関わってきた様々な職種の皆さんを統括しました。患者さんの情報を皆で共有することで無駄なくスムーズに患者さんやご家族の支援をはかります。

平成30年4月から運営開始しますのでよろしく申し上げます。



社会医療法人 栄光会 栄光病院
患者サポートセンター副センター長 鎌倉 富雄

患者サポートセンター副センター長の鎌倉です。

一月まで栄光病院の外来師長として勤務させて頂いていました。この度、患者サポートセンターの配属となり、また気持ちも新たに頑張っていきたいと思っています。

今回、二〇二五年問題（超高齢化、多死社会）に対する国の施策として、四月の診療報酬同時改定にいろいろな対策が盛り込まれました。「ときどき入院、ほぼ在宅」をキーワードに地域が協働し包括的に「住まい及び自立した日常生活の支援」ができるシステムを構築していくことが謳（うた）われています。最近、報道でも耳にすることが多くなった「地域包括ケアシステム」です。

私たちが住んでいる志免町を中心とした糟屋地区でも他人事ではない問題であり、地域がそれを理解し協力していかなければなりません。

栄光会としても、患者サポートセンターとしても、地域とのつながりを大切にして、少しでもお役に立てればと考えています。より良い医療や介護をめざして精進して参りますので、よろしく申し上げます。



「住み慣れた地域で暮らしたい」

そんな思いに寄り添います！



特

患者サポートセンターとは・・・

1 入退院支援室

予定入院の患者さんを中心に、病棟やソーシャルワーカーとの連携で、スムーズな入退院を支援します。

2 医療福祉相談室

病病連携の役割を担います。より良い療養生活のため、医療ソーシャルワーカーが患者さんやご家族のご相談をお受けいたします。

3 開放型病院推進室

病診連携の役割を担います。地域の診療所・クリニックと協力連携するため、担当者が地域の先生と連絡・調整します。

今回は、患者サポートセンターの役割の1つ

「入退院支援」についてご紹介させていただきます

地域・家庭・病院の連携の中で、
その方らしい幸福な生活が
送れるように支援します。

PFM (Patient-Flow-Management) というシステムを基盤に

- ・患者さんの入退院の流れをスムーズにできること。
- ・入院前から患者さんが安心して医療を受けられるよう、一人ひとりの身体的、社会的、精神的背景を把握し、その患者さんの状況に応じた入退院調整を行って、退院後も含めた一貫した支援ができること。
- ・病院内の連携はもちろん、地域とのつながりで切れ目のない医療を提供することができること。

を目指して、取り組みます。



対象は、、、

4A(一般病棟)・

4B(神経難病センター)・

5A(回復期リハビリ病棟)

(ホスピス病棟以外)の

入院予定の患者さん
です。

ホスピス病棟への入院のご相談は
『ホスピス地域連携室』まで
お問い合わせください

具体的な関わりとしては、、、

- ①入院前に患者さんご家族とお会いして、入院の目的や治療の内容などを説明し、納得していただいた上で、入院や退院について不安や希望があればお伺いします。
- ②入院に必要な物品や持参薬のこと、事務的な手続きの説明などを丁寧に行います。
- ③入院当日は、正面玄関にお迎えにいきますので、お待たせすることなく、病棟へご案内いたします。
- ④入院後に、病棟の案内、設備の使用方法などの説明をいたします。
- ⑤入退院に対する不安や希望については、医師や病棟看護師、ソーシャルワーカー（相談員）とも情報を共有して、状況に合わせての対応をいたします。

伝道部



チャプレン
清田 直人

「すべて、 疲れた人、 重荷を負っている人は、 わたしのところに来なさい。
わたしがあなた方を休ませてあげます」
(マタイによる福音書 11 章 28 節) ー建院の精神ー

キリスト教病院である当院には、 伝道部という部署があり、
病院専属の牧師(チャプレン)がいます。
チャプレンは、 ご入院中の患者さんならびにそのご家族の方に対して、
心のケアはもとより魂の救いの為にイエス・キリストの福音(十字架による罪の赦
しと復活)をお伝えする働きをさせていただいております。
自分の生きる意味を見失ったり、 不安や孤独を感じておられる方の苦悩が
少しでも軽減されるようお手伝いさせていただきます。

また栄光病院では、「よきおとずれ会」と呼ばれる聖書のお話の集いを、
毎週火曜日、 木曜日、 土曜日の午前 9 時から、 そして毎週水曜日は午後 1 時 30 分から
栄光病院 3 階のチャペル「栄光の間」におきまして開催いたしております。
さらに毎月第四日曜日は、 当院 2 階の礼拝堂にて午前 10 時 30 分より、
日曜礼拝を行っております。
どなた様も自由にご参加いただける礼拝のひとつです。

(伝道部 チャプレン 清田直人)

2 部署紹介

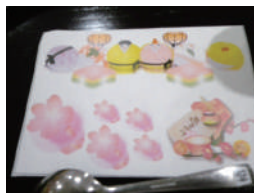
栄養管理課

栄養管理課を紹介させていただきます。
現在、 管理栄養士 2 名 (藤村・前田) が配属されています。
給食業務は委託で運営しており、 協力しながら患者さんに
治療効果のある、 喜んでいただける食事の提供に取り組んでいます。

【月 1 回の誕生会】



【年間通じてケア病棟祭事でのおやつ提供】



入院栄養指導、食事相談、特に最近では、在宅に向けての栄養指導が増えています。
ゼリー食、ミキサー食の食事指導、補食の提案、それに伴う購入も行っています。
外来栄養指導同様に行っております。
栄光会 管理栄養士で地域での料理教室を年に 2 回実施しています。
食を通じて生活の質の向上と一緒に考えていきたいと思っています。

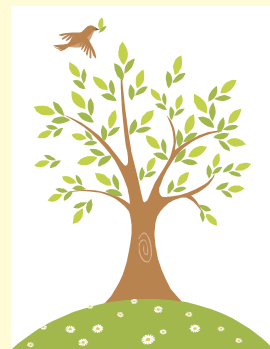


医療・看護の質向上への取り組み (12)

～認知症ケア向上委員会からの報告～

こんにちは 認知症ケア向上委員会です。

認知症ケア向上委員会は、
安心して入院生活が過ごせるように、
認知症ケアの質向上を目指し、活動しています。



1. 構成メンバー

委員長・副委員長： 看護師 各 1 名
委員： 各病棟 2 ～ 3 名看護師、 リハビリ 1 名

2. 認知症ケア向上委員会の主な活動内容



認知症ケア向上委員会は、H29 年度から発足した新しい委員会（取り組み）です。
超高齢社会において、認知症を抱える患者さんは急増しており、2025 年には約 700 万人となり、国民のおよそ 5 人に 1 人が認知症となることが予測されています。
現在も、入院が必要な認知症患者さんの増加や、高齢の方が入院などによる環境の変化等により認知症症状が出現するなどの課題があります。
これらに対応できるような知識や技術を持ち、看護師を含め他の様々な職種と連携しながら、認知症ケアが向上できればと考えています。

H29 年度は、

1) 認知症を知る（理解する）

【院内研修の実施】

神経内科医師をはじめ、院外研修を受講した看護師が
伝達講習をおこないました。
また、志免町地域包括支援センターからも講義に来て頂き、
9 回に渡って研修会を実施しました。

2) 認知症ケア向上への取り組み

【認知症ケアマニュアルの作成】

認知症ケアの実際や身体抑制の実施基準、薬物の適正使用等の内容

【認知症の評価とその後のケア】

対象患者さんには看護計画を作成し、実施・評価する

【身体抑制解除に向けての取り組み】

上記、2 点を重点的に取り組みました。



認知症の患者さんを対象に
月 2 回『ケアサロン』をおこなっています。
(写真は、こどもボランティアも参加して行った会の様子)

3. 最後に

当院では、これまで認知症ケアが確立されておらず、個人で学び対応していた状況でした。
しかし、今後は看護師を含め病院全体での取り組みを促進し、増加する認知症患者さんへのケアを
根拠と技術に基づき充実できるように、次年度以降も取り組んでいきます。

健康のための

ちよつとイイお話し

社会医療法人 栄光会 栄光病院

健診センター

センター長代行 川端 隆史



「健診と検診」

「健診」と「検診」の違いをご存知でしょうか？変換ミス？いえいえ。そうではありません。

時に人生を左右することがある「脳卒中」「心筋梗塞」「がん」。こういった病気を未然に防ぐ方法、症状が出る前に早く見つける手段として、**生活習慣病を検査する「健診」とがんや特定の疾患を重点的に検査する「検診」と**あります。

でも、症状がないのに受診する、なかなかその一歩を踏み出せない方も多いと思います。そこで、おすすめしたいのが「ちよつと追加検診」です。

会社の健診の際に気になる部分の検診（肺がん検診や乳がん検診など）を追加する、会社に勤めていない方は、特定健診といっしょに気になる部分の検診を追加する。といったやり方です。

実際に、どんな検査をうければ自分の気になる部分について調べられるかは、お気軽におたずねください。いつでもご案内させていただきます。

おすすめの組み合わせ ..ご提案..

【30代女性】
人間ドック
ライトコース
+
子宮がん&乳がん検診



主婦になって健診
受けていないなあ・・・。

【60代女性】
人間ドック
アドバンスコース
+
子宮がん&乳がん検診
+
大腸カメラ
+
骨ドック

【40代男性】
職場一般健診
+
肺がん&腹部がん検診



健診で受けてない部分の
「がん」が気になるなあ・・・。

【50代男性】
職場一般健診
+
肺がん&腹部がん検診
+
大腸カメラ

【特定健診のご案内】
特定健診は、メタボリックシンドロームに着目し、生活習慣病である糖尿病・高血圧症・脂質異常症を調べる健康診断です。対象は医療保険に加入されている40歳〜74歳の方となります。各種補助を受けることにより、**かなりお得に受診することが出来ます。**

患者さん・ご家族の声



* 師長さん、看護師の皆さま、ケアワーカーの皆さま、リハビリを担当して下さる皆さまのおかげで、ずいぶん良くなつてきて感謝いたしております。皆さまの笑顔と優しい声かけに癒されながら、毎日を過ごすことが出来ています。
* 面会時間終了時と、消灯時間に流れる音楽とアナウンスされる優しいお声に、毎日癒されております。ありがとうございます。

意見箱へのあたかいメッセージをありがとうございました。
今後とび「意見」ご感想などをお寄せ下さい。

My Favorite ~私のお気に入り~



栄光病院 院長
井上 裕

あるホームページに「あなたのお気に入り」を書きなさいといわれた時に書いた原稿が手元にあります。今から20年ほど前のことです。

気取っており、若気の至りも甚だしく、そうとう気恥ずかしいのですが、読み返してみると実は今もあまり変わっていないので再掲してみます。

○好きな本は「西協順三郎の詩集」SF作家J・Gバラードの「溺れた巨人」という短編集
○好きな音楽はフランス、ヨーロッパ系の女性もの。ナデージュ、クレモンティーヌ、バーシア等々。あるいはブルックナー、マーラー、それにフランスもので ラベル、フォーレ等々。○好きな絵描き…クレール、ルオー、キリコ、イブ・タンギー、

ダリ、それにダビッド○好きな映画「ソフィーの選択」「月の輝く夜に」「ストーリーカー」「最強のふたり」「あなたになら言える秘密のこと」「ステイキング」最近では「ゴーン・ガール」「デヴィッド・フィンチャー監督は一番好きです。○今一番欲しいもの：楽器（サクソフォンとフルート）○好きなスポーツ：マラソン

○今一番興味のあること：「

(1) 医療・医学は患者さんのために役立っているのか？

(2) 人工知能は人類を幸福にするのか？ (3) 生命の本質とは何か？ (4) マラソンで人間はどこまで速く走れるのか？

(5) 新しい音楽は生まれるのか？

これでも書き足りないことは山のようにあります。何歳になってもいろんなことに興味がつきません。それが私です。おそまつでした。

ドクター紹介



渡辺 啓太郎
わたなべ けいたろう

(所属：ホスピス病棟)

外科医を経て緩和医療に従事するようになりました。がん治療で悩んでいる人や地域での幸せな生活の維持のため、院内外の関わりを意識しながら栄光病院で働きます。よろしくお願いいたします。



豊永 雅恵
とよなが まさえ

内科
(所属：4A 病棟)

はじめまして。平成 13 年卒で、専門は糖尿病です。外来診療から、糖尿病教育や生活習慣指導を含めた血糖コントロール入院、その他の疾患で入院中の患者様の血糖管理などをして参りたいと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。動物占いは「まっしぐらに突き進むゾウ」です。

〈所属学会・専門医〉
日本内科学会
日本糖尿病学会



イベントのご案内

4 月の健康教室

時間：いずれも 14:00 ～ 15:00

会場：栄光病院

4/21 本館 2F 大会議室

4/28 本館 2F 礼拝堂

①4/21 (土)

テーマ：「介護保険ってどんな制度？」
～介護保険にはどんなメリットがあるの？～

講師：ケアマネージャー 江藤 晃

②4/28 (土)

テーマ：「ケアビクス♪」
～音楽に合わせて行う有酸素運動～

講師：保健師 藤江 富由美

【お問い合わせ先】

栄光病院 保健師 藤江
TEL 092(935)0147

どなたさまもお気軽にお越し下さい
(参加費無料・事前申し込み不要です)



4 月からの

外来診療スケジュールについて
(変更点)

	変更前 (～3月)	変更後 (4月～)
糖尿病	(月) 角医師 (木) 藤原医師 } 退職	(月) 14:00～ } 豊永医師 (木) 午前 } (常勤医)
循環器	(火) 林谷医師	(木) 午後 林谷医師
整形外科	(水) 中條医師→退職 (木) 千住医師	(火) 午後 幸 医師 (水) 14:00～ 井浦医師 (木) 午前 千住医師

度々、担当医師及びスケジュールの変更により
ご迷惑お掛けして申し訳ございません。

4 月からは、糖尿病専門医師が常勤医として
配属となりました。

これから、より一層、糖尿病外来に力を入れていきますので、
引き続き宜しくお願い致します。

編集後記

今年の桜は、ぽかぽか陽気で昨年より 1 週間以上早く開花し、もうすっかり新緑が
きれいな葉桜になっていますが、皆さん花見はされましたでしょうか。

さて、新年度を迎え皆さんも毎日慌ただしくお過ごしのことと思います。新年度と言え
ば新しく学生になられた方、社会人になられた方、また、決意新たにこの 1 年を始められ
た方、色んな 1 年のスタートになったことと思います。当院でも新たに 2 名の医師が加わ
り外来診療スケジュールも変更になっております、受診の際はご注意ください。

新しい年度を迎え新しいことを始めるのも良い機会かもしれません、当院でも「患者サ
ポートセンター」が運営を開始しました。詳しくは本紙特集の記事をご覧ください。

(安川)

※広報誌の送付が不要な方は
下記までご連絡ください。

社会医療法人 栄光会
広報営業部会 担当：安川(和)
TEL 092(935)0147

E-mail k-yasukawa@eikoh.or.jp

栄光病院

(2018年4月1日現在)

曜 日		月		火		水		木		金		土	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
総 合	①	原	折田泰	布 巻	原	青 戸	安 藤	白 井	青戸/井上	豊 永	青 戸	原/安藤	非常勤
	②	鶴 田		鶴 田		原		原/安藤		鶴 田		非常勤	
外 科		井 上		井 上		井上/斎藤		斎 藤		斎 藤		井上/斎藤	
専 門 ・ 予 約 外 来	循 環 器	折田加				岸		折田義	林 谷				
	呼 吸 器				安 藤					安 藤		日高※(1) (原則第1・3土曜)	
	糖尿病		豊 永 (14:00~)			豊 永			福 永 (両診のみ/15時迄)				
	神経内科	鶴 田		大 野		呉 屋		大 野		呉 屋			
	I B D									松井※(2)			
	整 形 外 科				幸		井 浦 (14:00~17:00)	千 住					
泌 尿 器 科												九 大	
内 視 鏡		中 里	中 里	中 里	中 里	中 里	中 里	中 里	中 里	原/(中里)	(原)/(中里)	(中 里)	(中 里)
気 管 支 鏡							安 藤				安 藤		
(※ 予 約 制)	ホスピス外来 相談	下稲葉康 吉 田 下稲葉順 (柴 田) (福 永)		吉 田 下稲葉順 (柴 田) (福 永)		下稲葉順 (福 永)		下稲葉康 吉 田 下稲葉(順) (福 永)		下稲葉順 (吉 田) (福 永)	福 永 15:00~	(柴 田) (福 永)	
健診センター	①	折田泰	川 端	折田泰	折田泰	折田泰/川端	折田泰/川端	折田泰	折田泰	折田泰	折田泰	折田泰/川端	折田泰/川端
	②	川 端		川 端	川 端			川 端	川 端	川 端	川 端		

※(1)「専門外来・呼吸器(土曜午前中)」は、月により日程が変更となる場合がありますのでご注意ください。

※(2)「専門外来・IBD(金曜午前中)」は、月2回程度(不定期)ですので、事前に必ずご予約ください。

診療スケジュールは都合により変更となる場合があります。予めご了承ください。

○診療時間は、9:00~17:00(昼休み12:30~13:30)となっています。なお、午前中の受付は12:00までとなっておりますのでご注意ください。ただし、急患は24時間いつでも受け付けております。

○専門外来・ホスピス相談は原則として予約制となっています。ご予約がないときは、お待ち頂くことがありますので、ご了承ください。

栄光会こどもクリニック

月 9:00~12:30・15:00~17:00 / 火~金 9:00~12:30・15:00~17:30 / 土 9:00~12:30

【日祝日、土曜午後 休診】 ※午前中の受付は12:00まで、午後の受付は15:00から

予防接種・健診: 月~金 14:00~15:00 ※予防接種・健診以外の方はご遠慮ください

曜 日		月		火		水		木		金		土	
		午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
小 児 科		田 崎	田 崎	田 崎	田 崎	田 崎	田 崎	田 崎	田 崎	田 崎	田 崎	田 崎	-

【救急外来受付】

救急患者さんの受け入れを 24 時間体制で行っています

※事前に ☎ お電話にて 診療科の確認をお願いいたします

TEL.092-935-0147

栄光病院グロリア基金のご案内

栄光会の医療・介護・福祉の事業展開のために皆さまお一人お一人のお力添えを心よりお願い申し上げます。栄光会事業の趣旨にご賛同賜り、ご支援頂けますならば、誠に幸甚に存じます。

【グロリア基金 お振込口座】

栄光病院グロリア基金 代表 下稲葉康之
西日本シティ銀行 博多支店 普 No.1533165
福岡銀行 吉塚支店 普 No.1443197
郵便振替 No.01730-8-76630 (代表者名等なし)

*法人・個人を問わず任意の額で結構でございます



救急告示病院

社会医療法人 栄光会

栄光病院

〒811-2232 福岡県糟屋郡志免町別府西 3-8-15

Tel.092(935)0147

Fax.092(936)3370

URL: <http://www.eikoh.or.jp>

E-mail: eikoh@eikoh.or.jp